



会津果樹情報第5号



☆雨が 많이 日が続いています☆
☆病虫害の発生状況をよく確認して防除しましょう☆

令和8年9月17日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部
(TEL 0242-29-5307)

J A 会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 気象概況及び予報

表1 月別気象表 (アメダス会津若松)

月	半旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)	本年	平年	平年比 (%)
9	1	23.5	23.4	0.1	28.1	28.8	-0.7	19.8	19.2	0.6	52.5	23.7	221.5	25.1	26.9	93.3
	2	21.5	22.6	-1.1	24.8	28.0	-3.2	18.3	18.5	-0.2	62	23.8	260.5	3.9	25.6	15.2
	3	22.5	21.6	0.9	27.4	26.9	0.5	19.3	17.4	1.9	9	24.2	37.2	15.1	24.3	62.1
平均・合計		22.5	22.5	0.0	26.8	27.9	-1.1	19.1	18.4	0.8	123.5	71.7	172.2	44.1	76.8	57.4

会津若松の9月1～3半旬の平均気温は22.5℃で平年並となりました。降水量は123.5mmで平年の172%とかなり多く、日照時間は44.1時間で平年の57%と少なくなりました(表1)。

東北地方の1か月予報(9/12～10/11)によると、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高い見込みです。降水量は活発な秋雨前線や湿った空気の影響を受けやすいため平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込みです。

2 生育概況 (9/15 現在、会津若松市)

(1) 果実肥大状況

表2 各樹種の果実肥大状況 (9月15日調査、暦日比較、平年は1996～2025年の平均)

樹種	りんご		かき	
品種	ふじ		会津身不知	
調査地点	会津若松市北会津町		会津若松市門田町	
分類	縦径	横径	縦径	横径
果実径 (mm)	82.6	87.5	56.3	74.9
平年比 (%)	115	111	107	105

りんご「ふじ」の果実肥大は、暦日比、生育日数比ともに平年より大きく推移しています(表2)。かき「会津身不知」の果実肥大は、暦日比では平年より大きく、生育日数比では平年並で推移しています。

3 今後の栽培管理

(1) 樹種共通

ア 長雨、日照不足対策

(ア) 園地内に滞水がみられる場合には、明きよ、暗きよを確認し、滞水を速やかに排水しましょう。

(イ) 日照不足、長雨などの条件下では、特に病害の発生が多くなるおそれがあるので、適期に薬剤散布を実施しましょう。なお、果実の収穫中である場合には、

薬剤の総使用回数と収穫前日数に十分注意しましょう。

(2) りんご

ア 中生種の収穫前管理と収穫

日照不足の条件では、りんごの着色不良が懸念されます。摘葉や玉回し等の着色管理は、各品種の生育状況に合わせて遅れないように実施しましょう。摘葉は、気温の高い日が続く場合は日焼け果の発生が懸念されるため、始めは果実に直接触れている葉を中心に軽く行い、その後は気温の状況に応じて程度を強めて実施しましょう。落果防止剤は、収穫開始予定日を考慮して使用基準に十分注意して使用しましょう。

イ 「ふじ」の栽培管理

反射シートの敷設や摘葉等の収穫前管理は遅れないように実施しましょう。

「ふじ」の摘葉を9月下旬頃から実施する場合は、1回目は果実と接触している葉を中心に数枚程度を摘葉し、その後は10月中旬に玉回しと合わせて行いましょう。

(3) かき

ア 新梢管理

8～9月にかけて3回程度に分けて新梢管理を実施してください(一度にせん除すると日焼け果の発生や枝の二次伸長を招く恐れがあるので注意してください)。

イ カメムシ類

園内での成虫の飛来状況をよく観察し、多数の飛来を確認した場合は、早急に殺虫剤を散布してください。

(4) もも

ア ももせん孔細菌病

本病は秋期に降水量が多いと翌春に春型枝病斑の発生が多くなる傾向にあるため、降雨前の秋期防除(3回)を徹底し、越冬病原菌密度の低下を図りましょう。

薬剤散布前には徒長枝の整理等の新梢管理を行い、薬剤の散布むらをなくしましょう。2回目以降の散布では、薬剤のかかり具合を確認し、新梢管理を見直しましょう。

〇秋の農作業安全運動を実施中です(令和8年9月1日～10月31日)。高所での作業、熱中症に気をつけましょう！

〇近年、農業災害が多発しています。農業保険(農業共済・収入保険)に加入しましょう！

〇収穫残渣は、クマが電気柵内に入ろうとするきっかけになります！

園地に放置せず、適正に処理(一か所に集めて埋める、柵で囲う等)しましょう！

